

真砂小学校区コミ協だより

第25号

平成30年8月20日

発行:真砂小学校区コミュニティ協議会

編集:真砂小学校区コミュニティ協議会広報部会

「平成30年総会」開催

：事業計画・予算決まる：

平成30年度真砂コミュニティ協議会は、5月19日

(土)笠原明夢西区長以下堀峰一地域課長、宮川美根子地域課主幹3名の来賓を迎えて坂井輪コミュニティセンターで行われました。当日出席率は委任状含む会員数で88%でした。

井比進(真砂2丁目自治会長)議長を選出後議事に入りました。



笠原西区町



佐藤コミ協会長

議決事項は次の通りです
一、平成29年度業務・事業報告
一、平成29年度決算報告
一、平成29年度会計監査報告
一、平成30年度業務・事業計画(案)
一、平成30年度予算計画(案)
議事は意義なく承認されました。

【平成30年度予算について】

今年度総予算の3,391,983円は前年を6%下回ったが、コミ協事業の「10周年記念誌発行」事業が終了した事と、「防災事業」を防災部会事業として集約した事による。

会費収入はコミ協会員世帯数30世帯の増加により3,000円増となった。

事業費支出は前年比17%減となっている。大きな要因はコミ協事業の改善によるもの。

コミ協運営助成に関しては、新潟市の方針により運営費の活動費転用30%減分を上乗せ増となっているため必要総予算は確保されている。

【平成30年度各事業計画】

◎コミ協事業

①第4回 真砂文化祭

実施場所…明倫短期大学6号館
実施内容…芸術部門発表展示会、芸能部門舞発表会

②イルミネーション事業

実施場所…真砂小学校グラウンド海側フェンスに点灯、実施期間…春期〜冬期当初迄

③真砂人材センター設立事業

有識者会議を実施する。

◎福祉部会

①世代交流の集い「こどもたちと遊び隊」

実施期日…平成30年8月23日、ものづくり活動・昔遊び等、実施場所…真砂会館

②うきうき元氣塾「真砂元氣塾」

実施期日…平成30年9月15日認知症をテーマにした「認知症介護劇」「お口の健康」、実施場所…坂井輪コミュニティセンター

◎青少年健全育成部会

「真砂体験教室」真砂わくわくスクールで挨拶運動、交流会(13回程度)

①けん玉大会 7月14日9・30〜11・30

②真砂小学校文化祭「フレイゾン」 10月20日11・20〜14・30

③スポーツ鬼「こっこ大会」 11月10日9・30〜11・30、開催場所…真砂小学校体育館

◎文化部会

①第10回写真教室

実施場所…坂井輪コミュニティセンター、実施方法…今年度は3回実施し、その中に第5回撮影会を設ける。講習内容…写真教室で学んだ事を撮影会で体現し、写真教室に持ち寄り実際に評価をもらい具体的な修正点を各自が習得する。

②パソコン教室 実施場所…真砂小学校パソコン教室、対象者…真砂コミュニティ協区域内の高齢者、講習内容…パソコン操作問題点の具体的な解決方法を専門技術者から数回講習をしてもらう。

③第7回文化講演会 (秋の深まった11月頃)、対象者…真砂コミュニティ会員

◎スポーツ部会

①野球リーグ戦・トーナメント戦

実施場所…真砂小学校グラウンド、参加チーム…真砂小学校区内各自治会・町内会有志による6編成チーム、実施期間…リーグ戦11月5月初旬〜9月末の日曜日、日報・信金杯11月8月の土・日曜日

②グラウンドゴルフ大会

第5回町内対抗グラウンドゴルフ大会、実施場所…真砂小学校グラウンド、参加チーム…各町内会有志により編成した7〜8チーム、実施時期…9月下旬土・日曜日の半日

③ゴルフ大会

第4回コミュニティ協会長杯争奪ゴルフ大会、実施場所…フォレストゴルフカントリークラブ、参加者…各町内会有志により編成された7〜8チーム、実施時期…10月中旬のウィークデー

④スポーツ健康教室

第3回スポーツ健康教室 (併せて卓球フリー教室も実施)、実施場所…西総合スポーツセンター、参加者…真砂校区内住民、実施期間…2〜3月のウィークデー10時〜12時の2時間(週1回で4回)



◎生活環境部会

①地域環境保全事業保安林整備と保育

実施場所…真砂3丁目西側の継続対策。
講演会 実施時期…11月末～3月末までの冬季、開催場所…西区役所分館又は真砂会館

②402号線飛砂対策「ハマニク植栽事業」

植栽場所…国道402号線海岸側砂丘地

◎交通安全・防犯部会

①交通安全対策

通学路の一部を除いては歩道のない地域が多い。登校、下校時の安全をパトロールする。小中学生の挨拶運動推進。集団登校を呼び掛け、立哨し援助する。青パトは2台で週3回実施(月、水、金が主体)

②防犯対策 防犯パトロール 場所…小針浜夕日コンサート、中央公園、通学路等

◎広報部会

コミ協だよりの発行…コミ協の活動内容を、自治会、地域住民等に広報する。

①コミ協だより25号、26号の発行

②取材(適宜)、編集会議(期間中6～7回)、コミ協だよりの作成、印刷、配布作業。

③各世帯に配布する事により、真砂小学校区コミュニティ協議会の活動等を周知してもらう。

◎防災部会

①災害時でも安心・安全に避難できる体制を構築する。

②地域課題の内容

・避難者の避難所への集中により発生する問題対応策・避難訓練の見直し(避難経路の再点検)・校区内地域の危険箇所(土砂崩れ指定箇所)の再確認・雪害対策の検討・防災対策の先進地視察・研究

③体系的な課題解決の方法・実地検証、ワークショップ形式検討会他

平成30年度予算表

収入	金額	備考
前年度繰越金	367,395	
運営助成・活動補助金	1,990,000	運営 900,000 円、活動補助金 1,090,000 円
事務所借り上げ補助金	516,000	光熱費込み
会費収入金	379,400	構成自治会 3,764 世帯×100 円
内規資金繰り入れ	44,098	コミ協だより 43,198 円、事務所借り上げ負担 900 円
雑収入金	95,000	資源回収奨励金
平成30年度総収入	3,391,983	

支出	金額	備考
部会・コミ協事業活動費	1,763,198	部会事業費 1,180,898 円、コミ協事業費 939,000 円
コミ協運営費	270,000	事務消耗品費、通信費等
事務所借り上げ費	516,900	月間→賃貸料 37,800 円、電気・ガス料 5,100 円
内規会計費	625,098	運営・活動費 433,098 円、補助金返還 192,000 円
次年度繰越金	216,697	
平成30年度総支出	3,519,893	

各事業計画その1	予算金額	各事業計画その2	予算金額
福祉部会(世代交流他1件)	190,000	広報部会(コミ協だより発行)	167,598
青少年健全育成部会(真砂体験教室)	150,000	防災部会(地域防災対策)	200,000
文化部会(写真・パソコン教室他3件)	60,000	コミ協事業(第4回真砂祭)	280,000
スポーツ部会(野球大会他3件)	100,600	〃(イルミネーション)	100,000
生活環境部会(飛砂対策他1件)	215,000	〃(人材センター設立)	100,000
交通安全・防犯部会(青パト他)	200,000	事業費合計	1,763,198

「区政懇談会」開かる

平成30年度コミ協総会終了後西区役所笠原区長以下8課15名参加の下真砂コミ協側からの要望に基づいて、次のように西区側からの回答及び質疑応答が行われました。

1. 大雨等による土砂崩れ災害に対する懸念

〓県条例として「斜度30度、高さ5m」を災害発生危険箇所としている。県内には13,796ヶ所あり、新潟市内

では312ヶ所ある。大雨警報による避難対応策は「避難準備」「避難勧告」「避難指示」があるが、いずれも県の責任対応となっている。市、区は避難所開設等に対応する。

2. Qバスについて

区の統計では5万人の利用者がある。今後も70人/週の利用者想定で、内野駅前、小針駅前にバス入構対策を考慮中。

Qバスを区バスに格上げする予定。南北を結ぶ唯一の路線となっている。デマンドタクシーの提案があったが、利用状況は1台当たり1人/1か月の実績。区バス担当の佐藤課長補佐によれば、Qバスはアピタ利用者、済生会病院利用者が多い。現在70便/週だが、区バスになれば増便も可能だ。

3. 除雪問題

今回の豪雪を機に従来体制をどう変えるのか?については、過去5年間の平均積雪は20cm～50cmを超えたら非常事態だった。初動体制を大通りは5cm、他市道を10cm越えとしていた。今後は排雪作業を強化し、建設業協会の協力と融雪剤の配布強化を図り、効果的、効果的な除雪対応を11月の説明会で行いたい。

4. 飛砂対策は

①一定予算を確保したので東西人工砂丘の繋ぎを行う。道路から海岸に抜ける通路をトンネル式に整備する。

②海側の削られてきている砂丘堆積状況を調査する。

③西側への延伸策も検討するが私有地対応が必要なので即対応は無理のようだ。

④海岸に深さ5m・幅2mの掘削した谷地制作を試み、風害調査を深めたい。

⑤道路海側の既存保安林については、県など関係機関と相談し緊急・必要性を検討し、対応する。



第9回上新栄町保安林連絡調整懇談会を開く

7月26日第9回目の会議が開かれました。平成27年11月以来の会議でした。

会議には県治山課と新潟地域振興局、市の農林政策課と区の農政商工課、界限3自治会、保安林隣接住民代表等18名が参加しました。

会議は当コミ協佐藤会長の挨拶で開会。

平成27年以降のコミ協の取り組みを根本生活環境部会長が報告。

・明倫短期大北側の3人の地権者より整備の同意が得えられた。(30年事業で整備する)

・海岸道路夕焼け小針より北の海側の保安林に大量の砂が押し寄せてきて、放置すれば保安林が枯れてしまうため、5月知事に早急な対策の要望書を提出した。

・まだ整備に同意が得られない方々に同意のお願い文書や訪問を継続してきた。

・風力発電の設置が計画(平成28年)に対して自治会長との話し合いや、住民説明会を実施した。

県からは

・保安林の機能が果たせるよう、皆さんと一緒に整備してきたい。今後も継続してゆく。

市からは

・必要な情報は県と共有しつつ主に松くい虫の防除を中心にすすめている。

地元ボランティア組織「松海の森」からは

・精力的に草刈や間伐材の整理など進めて、地域の安全にも寄与する。30名余の会員。

保安林隣接住民からは

・隣接地から数十メートルには「トベラ」「シャリンバイ」の照葉樹を植えてもらったが、さつぱり成長せず枯れたものがたくさんある。強い乾燥が原因である。

・大雪で樹木が折れたりして市道が危険。間伐の際一緒に切つて欲しい等

これらの報告のあと、論議では今後も地権者に訴えて、同意が得られた所から整備をすすめること、最初に植栽した場所の間伐をする(明倫短大の裏も)等でした。

まさご体験教室「けん玉大会」

青少年健全育成部会

日時=平成30年7月14日(土) 9:30~11:30
場所=真砂小学校 体育館(まさごわくわくスクール)
参加者=未就学児2人・小学生34人・大人13人
合計49人

大皿と中皿を交互に玉を乗せかえて何回続くかを競う「もしカメ」という競技(「もしもしカメよ~カメさんよ~」のリズムにのせてリズムカルに球を移動させる競技)を行いました。

初めに、けん玉先生こと元真砂小学校長の結城先生にルール説明とご指導をいただきスタートしました。

練習を終えた時点で、参加者から何回できたかを教えてもらい、初級部門、中級部門、上級部門、大人部門の4部門に分けて大会を行いました。

初級部門については、「もしカメ」競技は難しすぎたため、急遽、大皿に30回で何回乗せれるかという簡単な競技で競いました。上級部門では、480回という素晴らしい記録ができました。

今回は、3連休の初日で、海フェスタでイベントが盛りだくさんであったこともあり、一昨年の人数69人には及びませんでした。結城先生が校長先生だった時期の児童で現在は大学生の方も千葉から駆けつけてくれて、アットホームな感じで楽しく競技ができました。また、けん玉が苦手な子向けに、昔~今の各種遊びを用意していたので、皆楽しく遊んでいました。

けん玉は「腕の筋肉や腹筋、背筋などの体を支える筋肉を鍛える」「ぶれにくい体になる」「脳を鍛えることができる」「集中力が付く」等と言われているだけでなく、結城先生には、普段から例年PTA主催のわくわくスクールでもご指導をいただいていることから、真砂小学校区の活動として定着していけたら良いなと考えています。



「真砂小学校 安心・安全への取組」

真砂小学校では、子どもたちの安心・安全確保に以下のように取り組んでいます。

「交通安全指導」

1年生には、入学後4月に西区総務課安心安全係の交通指導員をお招きして、「交通安全教室」を行い、正しい交通ルールにそった登下校の仕方やマナーの徹底を図っています。

また、春(4月)と秋(9月)に職員が立哨指導を行い、「左右の安全を確認してから道路を渡る。」「歩道のない道路では広がらず、右端を歩く。」等の指導を行っています。

「防犯への取組」

毎年、スクールガードリーダー(教育委員会から委嘱された防犯の専門家)を指導者としてお招きし、不審者対応避難訓練を実施しています。学校に不審者が侵入した場合の避難の仕方とともに、登下校で自分の身をどのよう守ればよいか教えていただきます。また、1年生を対象とした「子どもの体験型安全教室」では、不審者に遭遇したときに、危険から身を守る方法を体験を通して身に付けることを学びます。

登下校時、真砂小学校区コミュニティ協議会の皆様からは、新潟県警及び真砂小セーフティースタッフの皆様とともに通学路等の見守りを行っていたいでいます。

今後ともご協力いただきますようどうぞよろしくお願いいたします。

今年も飛砂防止の「浜にんにく」を植栽

海岸の飛砂防止を継続的に取り組んでいる当コミ協生活環境部では、平成29年度事業として、3月24日(土)午前10時から402号線の人口丘の裾に「浜にんにく」2,200本を植栽しました。「にいがたなぎさの植物そだて隊」として今年で8回目です。

佐藤コミ協会長の挨拶と、国交省信濃川下流事務所長、西区建設課長の両氏から激励の言葉を受け40名で一齐に植栽しました。天候にも恵まれて、参加者は毎年の事業なので慣れた手付きで40分程で終了しました。



真砂コミ協の拠点問題について検討を開始

真砂コミ協拠点問題とは：

当コミ協では平成23年11月に「真砂小学校区に公共的施設建設の要望書」を提出。以来、地域の活動拠点(コミハウス等)について毎年、要望の実現を強く求めてきた。

これに対して区は平成34年、真砂小の体育館の改築時に併せ、小学校敷地内に建設を約束してきた。

しかし、平成29年6月の区政懇談会で、真砂小学校体育館の改築が30年も先になり(改築期限が50年から80年に)、体育館の改築に併せての建設は出来なくなつたことが笠原区長より報告された。そこで区は独自に建設することを約束した。

検討は、地域の方々、コミ協加

盟団体、真砂会館の利用団体、地域でいろいろな活動をしている

方々(団体・個人)等々、多くの方々で勉強会を開き、地域の実情、課題を明らかにして、実情と要望に沿った「まちづくり拠点(センター)」を作るための作業です。

第一回勉強会は5月27日(日)坂井輪コミセンにて開催、69名の参加者がテーブルに分かれて討論。「コミ協とは」から

センター(施設)建設など70項目に渡る意見等が出された。第2回勉強会は8月5日です。



第4回 真砂文化祭

第4回

ステージ発表 (6号館 5階 体育館)

10月21日(日) 午前10時～午後3時(予定)

作品展示 (6号館 4階 第4講堂)

10月20日(土) 午後1時～5時

10月21日(日) 午前10時～3時

ところ:明倫短期大学(真砂3丁目16-10)

主催:真砂小学校区コミュニティ協議会

地域の文化祭です。ぜひお越しください!

※作品募集
8月上旬～9月中旬

編集後記

今回の主な内容は、総会開催・区政懇談会・コミ協拠点問題を掲載。恒例となつた真砂文化祭の案内も載せました。また、真砂小学校にお願いし、学校における「安心・安全への取組」も寄稿して頂きました。

猛暑が続いています、熱中症にならないように水分補給は忘れずに。次号は2月発行予定です。